

# 仮想統合解析手法を用いたビッグデータ利活用プラットフォーム構築事業

公益社団法人関西経済連合会

(国立循環器病研究センター、田辺三菱製薬株式会社、日本ユニシス株式会社)

【お問い合わせ】  
 関西経済連合会 産業部  
 山下 紘史  
 yamashita-h@kankeiren.or.jp

## 事業概要

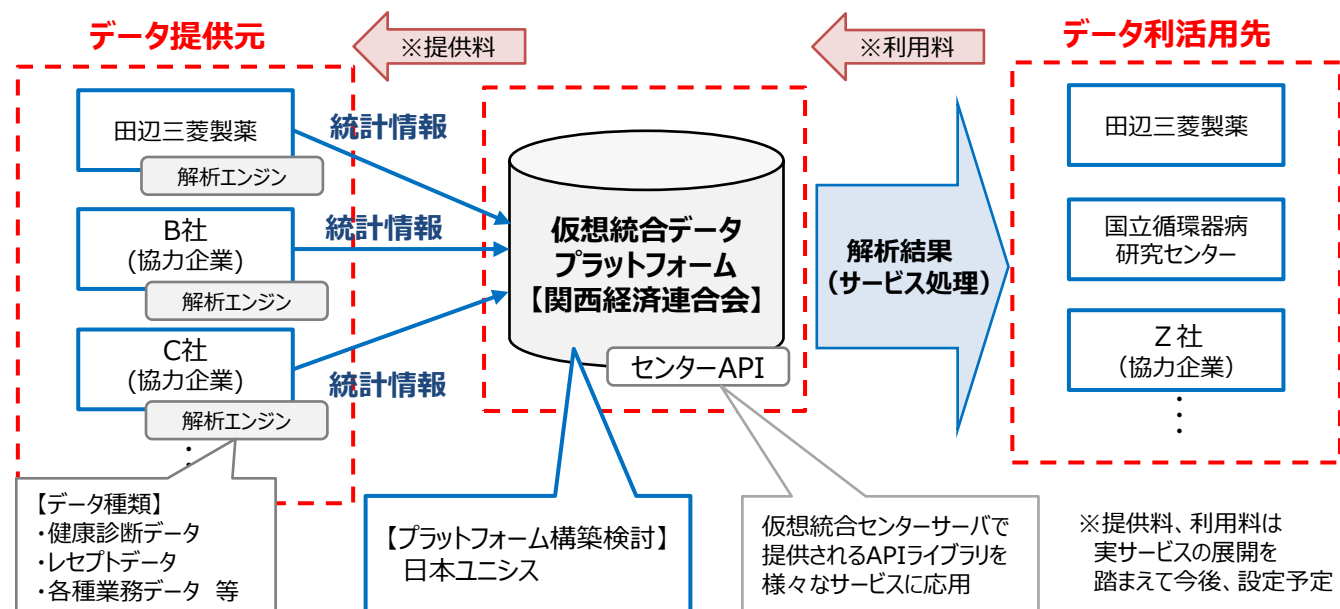
従来、健康・医療等のパーソナルデータを1つのデータベースに生データ（匿名加工データ含む）として集約する手法は、個人同意を新たに取得する必要性等からデータ提供者（企業）の抵抗感が強く、複数企業のデータ提供によるビッグデータ化が困難だった。

本事業では生データを組織内で解析し、その結果である統計データを集約（仮想統合）した仮想ビッグデータ化を実現。仮想統合ビッグデータを利活用した新商品・サービス創出の可能性を幅広い企業や研究機関による検証や企業の業務データ等パーソナルデータ以外のデータも集約し解析を行い、新商品・サービス創出の可能性を検証する。

また、将来のライフコースデータを一元的に取扱うオープンネットワークプラットフォーム（データハブ拠点）形成に向け、データ提供者やサービス事業者、システムベンダー等が容易に参入できるプラットフォームの要件整理を行う。

## 事業モデル

主に企業が保有する健診、レセプトデータ等のパーソナルデータを自組織内で解析し、その結果を統計データとして収集（仮想統合）することでビッグデータ化し、それを用いた新商品・サービス創出の可能性も踏まえたプラットフォーム化の可能性を検証する。

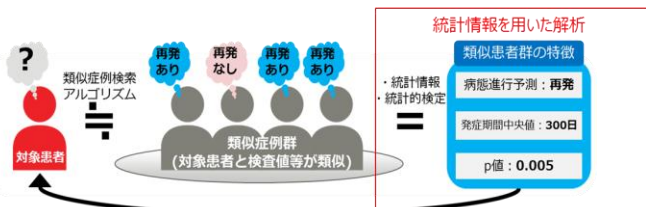


## データ利用イメージ

仮想統合解析によりビッグデータ化された統計データを用いて新たな商品・サービスの創出の可能性を検証する。

### 例1) 類似症例 (被保険者) 検索システム

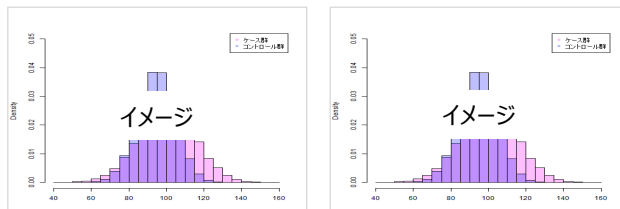
大量の蓄積された健保情報から類似群を検索し、他の症例群との統計量の比較や統計的検定することで、対象の被保険者の疾患発症予測や施策効果予測が期待される。



### 例2) 疾患マーカー探索サービス

対象のケース群 (例: 精神疾患を罹患) とコントロール群 (例: 正常者) の間で、生活習慣情報、健保情報、勤怠情報等から、疾患マーカーとなる因子 (例: 残業時間40時間超) を探索するサービスの展開が期待される。

例) 月残業40時間を年5回超えると精神疾患を罹患しやすい...



1. 複数企業の健康・医療データ等を仮想統合した活用検証  
 ➔ 複数企業の実データを用いたデータ解析、ポリシー、運用の検証
2. 複数のベンダーが参画したデータ量が豊富なプラットフォームの構築検証  
 ➔ マルチベンダーに対するプラットフォーム機能、運用、ポリシーの検証
3. サービス事業者による統計データを活用したビジネスモデルが描けるかの検証
4. 統計情報によるデータ提供・取得手法・容易性の検証  
 ➔ 個人同意手法・内容等の検証

- 仮想統合解析によりビッグデータ化された統計データを用いた新たな商品・サービスの創出の可能性が考えられる。
- 【解析例（概念）】
1. 十分なサンプル数を担保した上、レアケースの解析を実現
  2. 企業間、異業種間、同業種間での比較解析を実現
  3. パーソナルデータを介した企業固有データ間の関連解析を実現
- 【サービス展開例】
- ・類似症例検索サービス
  - ・医療費予測、保険事業介入効果シミュレーションへの応用
  - ・働き方改革評価および施策立案
  - ・先制医療への活用（疾患マーカー検索）
  - ・くすりの使い方プロモーション（薬のポジショニング）

今後のスケジュール

2018年度は本事業において、複数企業データの仮想統合、プラットフォームの検討、ビジネスモデルの検討等を実施する。次年度以降は、仮想統合データプラットフォームの構築を計画（併せて自立運営に向けたデータハブ拠点設立準備）し、4年後にはライフコースデータを一元的に取扱うデータハブ拠点として、社会に必要なデータ共有基盤となることを想定している。

2018

2019

2020

2021

**仮想統合解析手法を用いたビッグデータ利活用プラットフォーム構築事業**

- 複数企業のデータ統合
- プラットフォームの検討
- データ利活用ビジネスモデル検討
- データ提供手法検討

【データハブ拠点設立に向けた準備】

○仮想統合プラットフォームの検討深掘り

- ・データ数、データ種類、P F 参画企業の拡大
- ➔ P F 事業の自立化

【重要成果指標】

- 参加企業数
- ・サービス提供（検討）企業数
- ・データ提供企業数
- ・P F 参加企業数

○データ数（データ提供元・解析前）

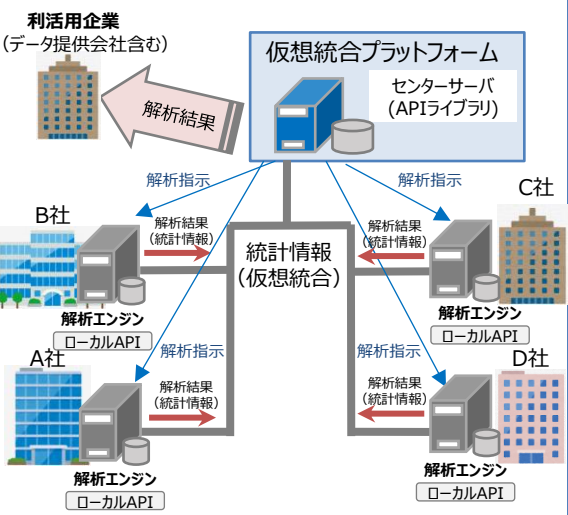
○サービス開発・提供数

○先行する他の事業との連携

○データハブ拠点事業法人設立

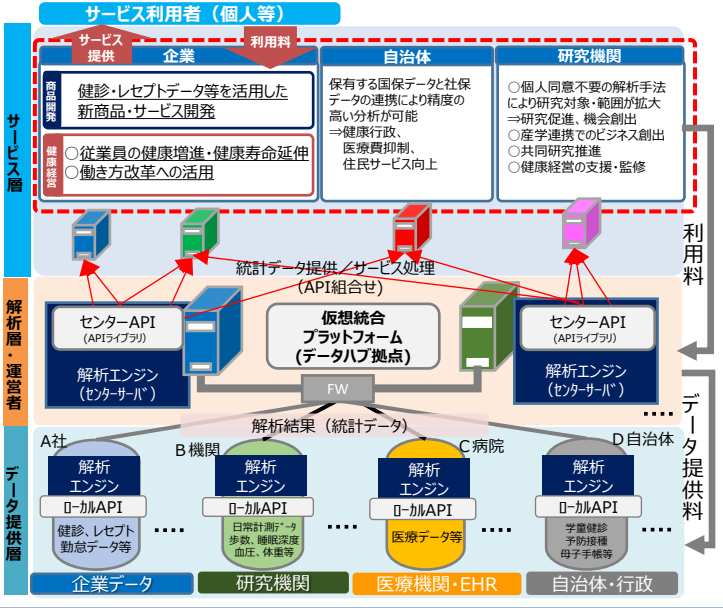
ライフコースデータを一元的に取扱うデータハブ拠点事業法人によるプラットフォーム運営

2・3年後のイメージ



- 社会的波及効果（展開可能性）**
- 生データを組織外に持ち出すことなく容易に利活用できる道筋をつけ、複数企業の参画によるビッグデータ化を推進。
  - データ量の拡大のみならず、企業等が有する各種データを拡大・組み合わせる（例：健康・医療×動向×マーケティング）ことで、研究利用のみならず、収益性のある新たな商品・サービスを開発（複数事例）。
  - サービスおよびデータ提供に料金を設定することでプラットフォームを自立化。

4年後のイメージ



- 社会的波及効果（展開可能性）**
- オープンネットワークプラットフォームにより、データ提供者、システムベンダー、サービス事業者の参画が容易になり、サービス創出の量・幅ともに大幅に拡大。
  - データハブ拠点事業法人（仮）を設立し、他のデータ基盤（例：匿名加工、自治体データ等）と連携しながら、ライフコースデータを一元的に取り扱う基盤に発展。

ビジネスパートナー募集

本事業にご協力いただける、以下のような事業者を希望する。

- 【データ提供者】……健康・医療データ、各種業務データを活用した健康経営に繋がる多角的な分析を検討している企業
- 【基盤運営者】……仮想統合プラットフォームの運営者として参入を検討いただける企業
- 【データ利用者】……健康・医療関係データを活用した健康・医療・介護・食品等の新たなビジネスを検討している企業